

空知信用金庫・第154回地域企業景気動向調査

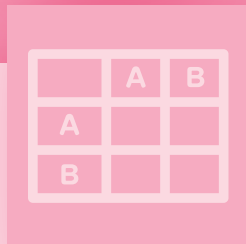
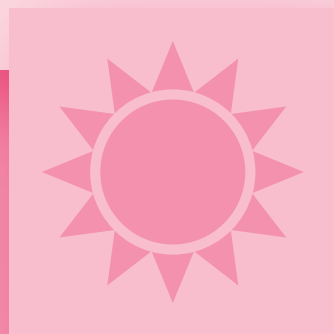
景況レポート

2025.1

このレポートは、空知信用金庫が岩見沢・美瑛・三笠・栗山・由仁・長沼・南幌・江別に所在の地元企業のご協力により、令和6年10月～12月の景気の現状と令和7年1月～3月の見通しを調査したものです。

令和7年1月末日

空知信用金庫・地域支援部
岩見沢市3条西6丁目2番地1
電話 (0126) 22-1171



第154回 地域企業景気動向調査要項

1. 調査地域

岩見沢市・美瑛市・三笠市・江別市・栗山町・長沼町・南幌町・由仁町

2. 調査対象期間

令和6年10月～令和6年12月期（実績） 令和7年1月～令和7年3月期（予想）
令和6年12月2日～12月6日に実施

3. 調査の方法

面接・聞き取りによる調査

標本（調査対象企業）の抽出法としては、標本の業種・規模等の基本属性が、母集団（当金庫融資取引先）の属性に見合う基準にもとづく、有意抽出法によるもの。

4. 業況判断指数

D・I値による判断

D・Iとは？ Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したものだ。
D・Iが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

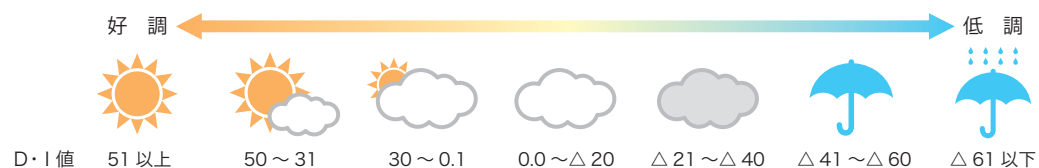
D・I値 = 「増加・やや増加・上昇の割合」 - 「減少・やや減少・下降の割合」

5. 調査対象企業数・有効回答数の内訳

区 分	調 査 対 象 企 業	有 効 回 答 数	有効回答率 (%)
製 造 業	24	23	96
卸 売 業	14	13	93
小 売 業	57	55	96
サ ー ビ ス 業	32	30	94
建 設 業	43	43	100
不 動 産 業	7	7	100
運 輸 業	17	17	100
農 業	28	28	100
計	222	216	97

6. 天気図の見方

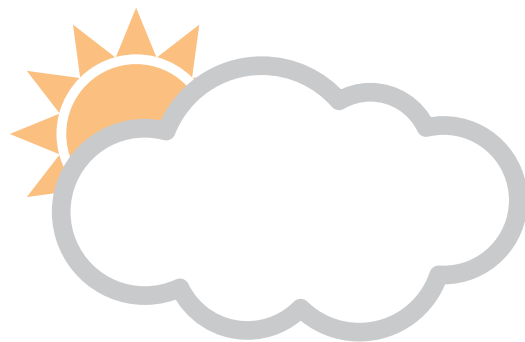
景気指標を総合的に判断して作成



7. 特別調査

「2025年（令和7年）の経営見通し」

総合



概況

物価高で景況感は頭打ち、かろうじてプラス圏を維持

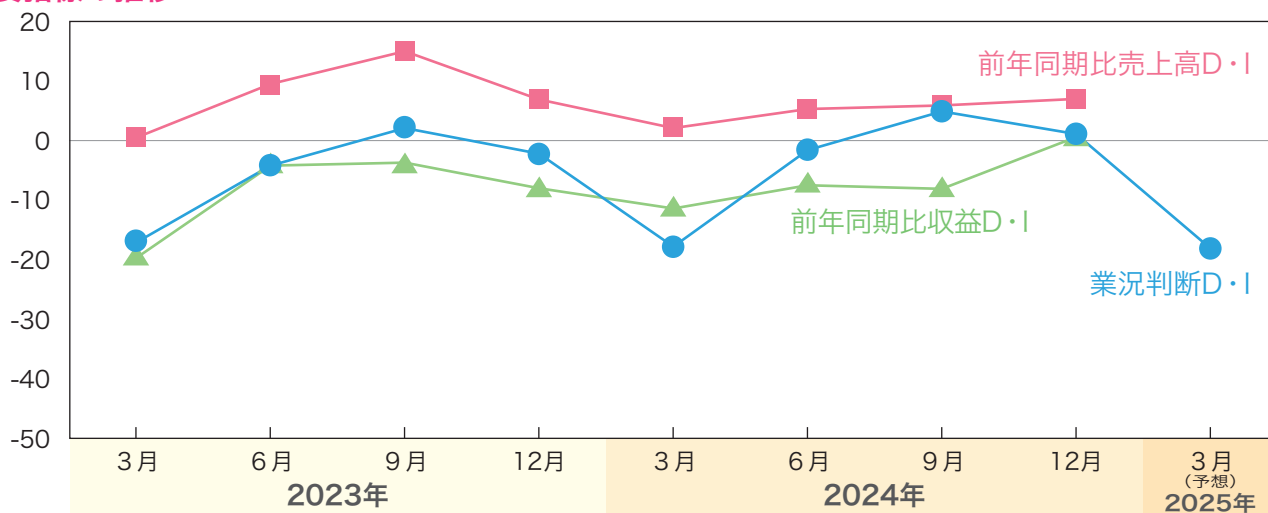
今期の業況判断指数（D・I値）は、1.1と前期（7月～9月）より3.8ポイント下降したものの、2期連続でプラス圏を維持しました。業種別に見ますと製造・小売・農業で上昇し、他の5業種は下降しました。売上高D・I値は7.0と前期比1.1ポイント改善し、製造・卸売・建設・不動産・農業で上昇、小売・サービス・運輸業で下降しました。収益D・I値は0.6と前期比8.7ポイント上昇、製造・運輸業で下降となりましたが、他の6業種はいずれも上昇しています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△2.2	4.9	1.1	△18.1
売上高D・I	6.9	5.9	7.0	—
収益D・I	△8.0	△8.1	0.6	—

来期の見通しについて

来期の予想業況判断指数（D・I値）は△18.1で、今期より悪化となる見通しです。業種別では、不動産業で上昇、卸売業で横這い、他の6業種で下降を見込んでいます。主要指標は、いずれも前年同期比やや改善していますが、経営上の問題点として人材不足、売上の停滞、商圏人口の減少が常に上位にランクされ、先行きへの不安が数値に反映されました。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	26.1	8.7	13.1	4.4
卸 売	64.3	38.5	46.2	23.1
小 売	31.4	27.8	25.5	14.6
サービス	26.7	26.7	23.3	16.7
建 設	39.5	30.2	41.8	23.3
不 動 産	14.3	0.0	△14.3	—
運 輸	52.9	35.3	41.2	29.4
農 業	42.3	40.7	67.9	21.4

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	69.6	65.2	34.8	26.1
卸 売	64.3	38.5	30.8	23.1
小 売	48.2	38.8	40.0	29.1
サービス	56.7	46.7	33.3	36.7
建 設	58.2	48.8	53.5	37.2
不 動 産	14.3	28.6	14.3	14.3
運 輸	58.8	35.3	52.9	35.3
農 業	61.5	48.1	75.0	39.3

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△39.1	△30.4	△34.8	△26.1
卸 売	△28.6	△30.8	△15.4	△7.7
小 売	△16.6	△22.2	△18.2	△20.0
サービス	△36.7	△33.4	△43.3	△40.0
建 設	△46.5	△34.9	△46.5	△44.2
不 動 産	△14.3	△14.3	△14.3	△28.6
運 輸	△58.8	△52.9	△58.8	△58.8
農 業	—	—	—	—

○残業時間D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	0.0	4.3	4.3	△4.4
卸 売	△7.1	△7.7	△7.7	△15.4
小 売	0.0	△1.9	1.8	0.0
サービス	3.3	6.7	0.0	0.0
建 設	△7.0	△7.0	△4.7	△9.3
不 動 産	—	—	—	14.3
運 輸	5.9	△11.7	△11.8	△11.8
農 業	—	—	—	—

○借入金の動き・難易度

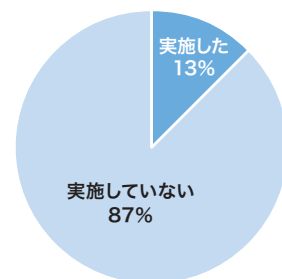
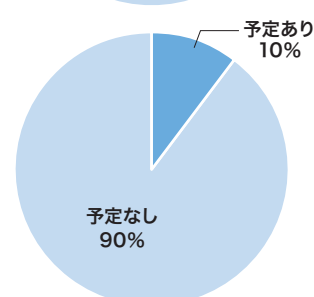
(%)

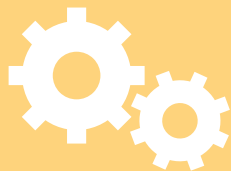
	借入金の実施	借入金の予定	民間金融機関からの借入難易度			
	し た	あ る	容 易	変わらない	難しい	該当なし
製 造	26.1	17.4	21.7	65.2	8.7	4.4
卸 売	23.1	23.1	7.7	92.3	—	—
小 売	14.5	14.5	1.8	69.1	10.9	18.2
サービス	13.3	16.7	6.7	73.3	3.3	16.7
建 設	23.3	11.6	11.6	74.4	9.3	4.7
不 動 産	—	—	14.3	85.7	—	—
運 輸	29.4	11.8	5.9	82.4	5.9	5.8

○設備投資の動き

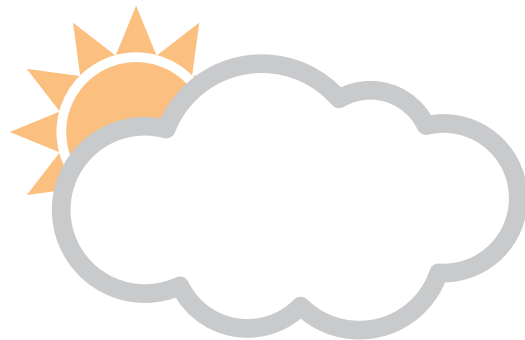
(%)

	前年同期	前 期	今 期	実施予定
製 造	13.0	17.4	17.4	8.7
卸 売	14.3	7.7	—	—
小 売	18.5	7.4	5.5	3.6
サービス	16.7	23.3	16.7	13.3
建 設	25.6	16.3	16.3	20.9
不 動 産	—	—	—	—
運 輸	11.8	17.6	23.5	11.8
農 業	7.7	3.7	10.7	7.1

2024年10月~12月期
設 備 投 資今後3ヶ月以内
設 備 投 資 計 画



製造業



概況

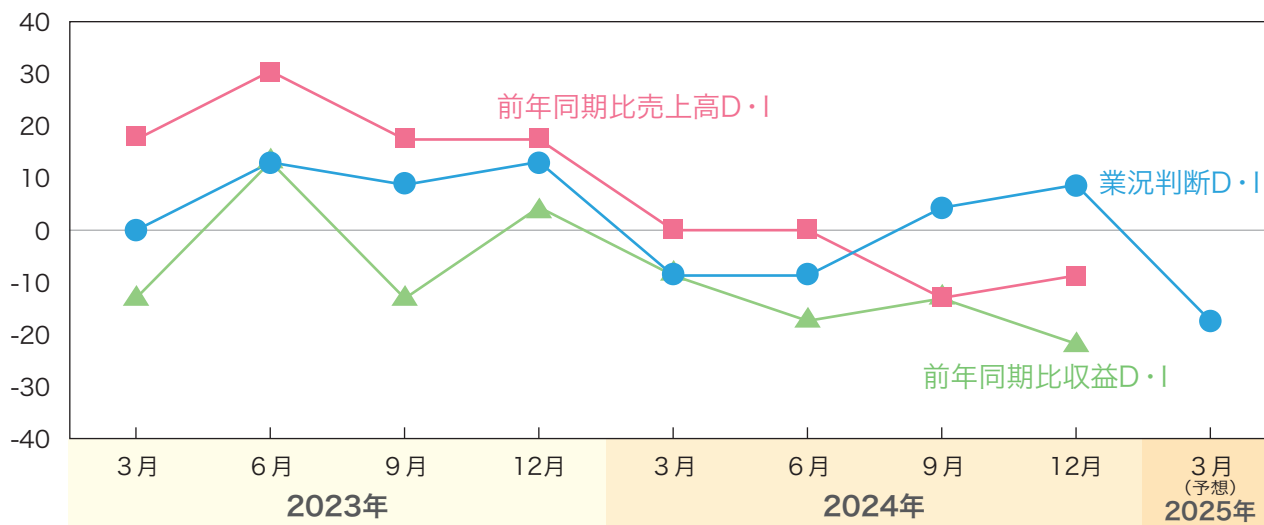
今期の業況判断指数（D・I値）は、8.7と前期（7月～9月）より4.4ポイント上回り、2期連続でプラス圏内を維持しました。出版・印刷関連産業で下降、建設用金属製品・その他の製造業で改善となり、その他の業種は横這いでした。売上高D・I値は前期比4.3ポイント改善しました。収益D・I値は前期比8.7ポイント悪化しました。売上減少に加えコスト上昇分の価格転嫁が一部止まりと推察され、採算性は厳しい状況となりました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	13.1	4.3	8.7	△17.4
売上高D・I	17.4	△13.0	△8.7	—
収益D・I	4.4	△13.1	△21.8	—

来期の見通しについて

食料品、窯業・土石製品及びその他の製造業で下降する見込みで、その他の業種では現状維持を見込み、製造業全体では今期実績から悪化する見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・10月の総選挙で与党議員の空白区となり、その影響が心配される。
- ・住宅の建築が落ち着いており、モノの流通が悪くなっている印象がする。
- ・売上、収益は横這いであるが肉の仕入れ値が上昇、人材確保が懸念点である。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	原材料高 人手不足 47.8%	原材料高 人手不足 売上の停滞・減少 34.8%
第2位	工場・機械の狭小・老朽化 26.1%	工場・機械の狭小・老朽化 17.4%
第3位	売上の停滞・減少 21.7%	仕入先からの値上げ要請 人件費の増加 13.0%

（複数回答）

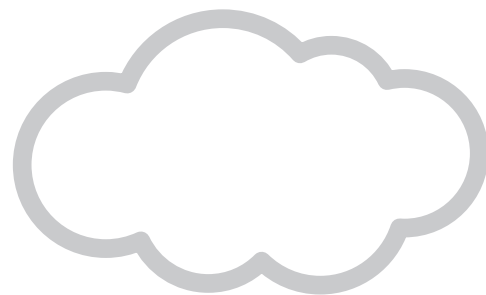
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 56.5%	販路を広げる 52.2%
第2位	人材を確保する 39.1%	人材を確保する 39.1%
第3位	経費を節減する 34.8%	経費を節減する 21.7%

（複数回答）



卸売業



概況

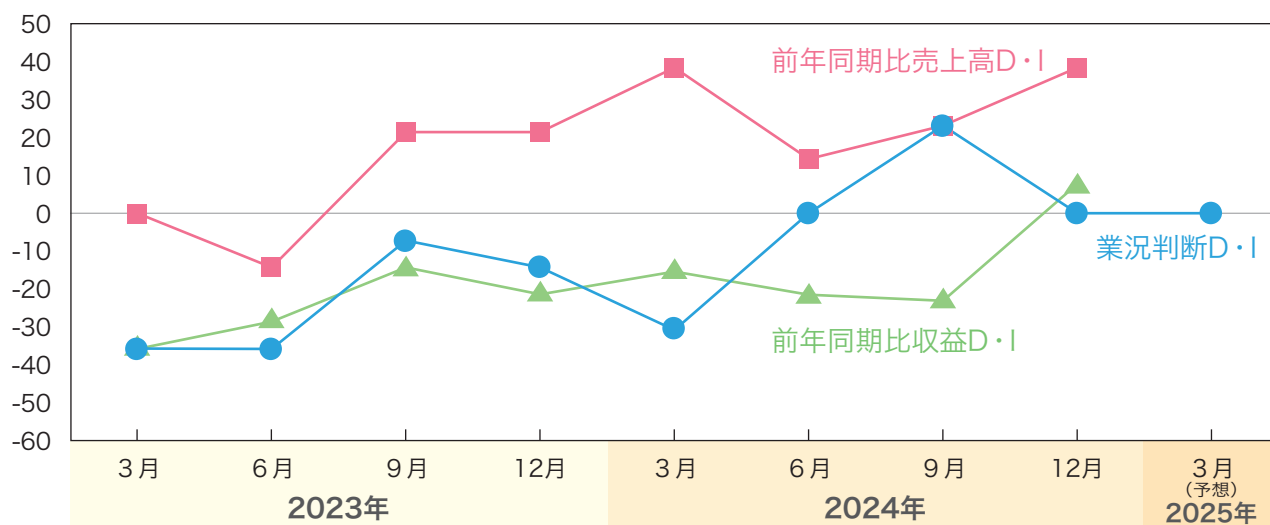
今期の業況判断指数（D・I値）は、0.0と前期（7月～9月）に比べ23.1ポイント悪化しました。食料・飲料卸売業で上昇、農畜産物・水産物及びその他の卸売業で悪化、これ以外の卸売業は横這いでした。売上高D・I値は前期比で15.3ポイント、収益D・I値は同30.8ポイント好転しました。経営指標は改善されつつありますが、利幅及び売上げの減少を課題としており、全体では厳しい状況が継続しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△14.3	23.1	0.0	0.0
売上高D・I	21.4	23.1	38.4	—
収益D・I	△21.4	△23.1	7.7	—

来期の見通しについて

農畜産物・水産物卸売業で改善を見込み、食料・飲料卸売業で下降の見通しで、全体では横這いの見通しとなっています。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・建材高騰により買い控えに悩んでいる。
- ・野菜卸売先を拡大予定。
- ・冬以降、単価上昇見込み。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人件費の増加 42.9%	利幅の縮小 53.8%
第2位	取引先の減少 天候の不順 人手不足 28.6%	売上の停滞・減少 38.5%
第3位	売上の停滞・減少 利幅の縮小 21.4%	同業者間の競争の激化 流通経路の変化による競争の激化 30.8%

（複数回答）

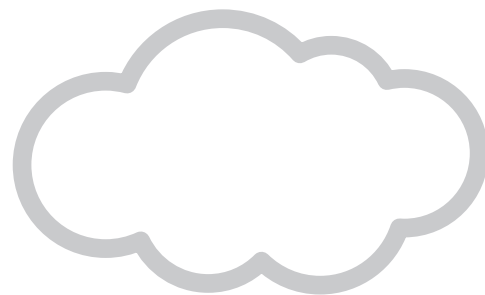
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 92.9%	販路を広げる 69.2%
第2位	販路を広げる 64.3%	経費を節減する 38.5%
第3位	人材を確保する 42.9%	情報力を強化する 人材を確保する 30.8%

（複数回答）



小売業



概況

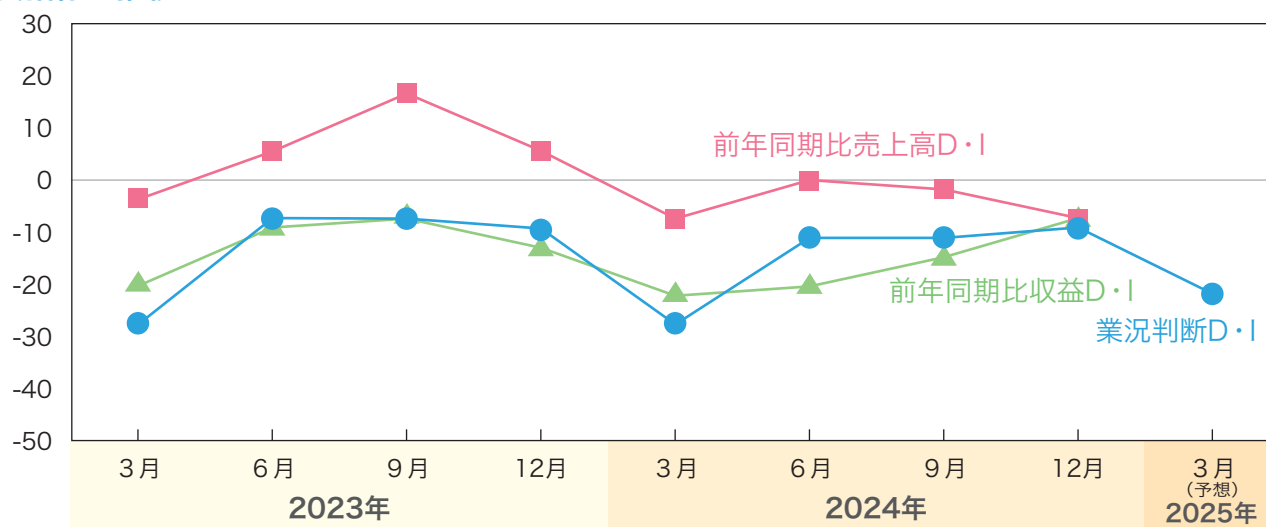
今期の業況判断指数（D・I値）は△9.1で前期（7月～9月）に比べ2.0ポイント上回り回復の兆しが見えたものの、冴えない業況が続きました。衣料品・家庭用機械器具・スポーツ用品小売業で上昇、自動車・自転車・家具・建具・什器及び燃料小売業で悪化し、他の業種では横這いでした。売上高D・I値は前期比で5.5ポイント下降、収益D・I値は同7.5ポイント改善しましたが、経営指標はマイナス圏内に止まっており、厳しい状況が続きました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△9.3	△11.1	△9.1	△21.8
売上高D・I	5.6	△1.8	△7.3	—
収益D・I	△13.0	△14.8	△7.3	—

来期の見通しについて

飲食料品・家具・建具・什器・燃料・スポーツ用品及び木材・建築材料小売業で下降、他の小売業は横這いの見通しで、小売業全体では今期実績より悪化を見込んでおります。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・新型コロナ禍以降、贈答文化の衰退が、一層加速したと認識している。
- ・イトーヨーカ堂、西友の閉店セールが重なり、現状は問題ないが、今後の販売先確保に注力する。
- ・町内人口増加で若年層が増えたと思う。売上が伸びることを期待している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商圏人口の減少 48.1%	商圏人口の減少 47.3%
第2位	売上の停滞・減少 33.3%	売上の停滞・減少 43.6%
第3位	人手不足 22.2%	人件費の増加 大型店との競争激化 20.0%

（複数回答）

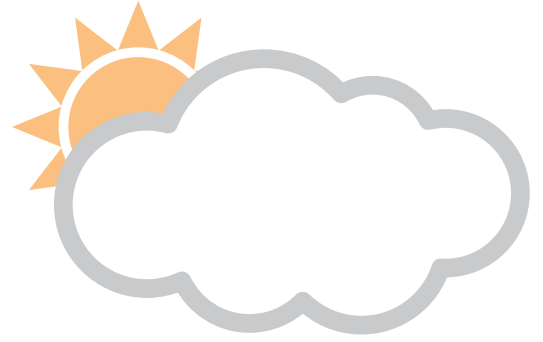
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 50.0%	経費を節減する 50.9%
第2位	人材を確保する 25.9%	商店街事業を活性化させる 29.1%
第3位	売れ筋商品を取扱う 24.1%	売れ筋商品を取扱う 21.8%

（複数回答）



サービス業



概況

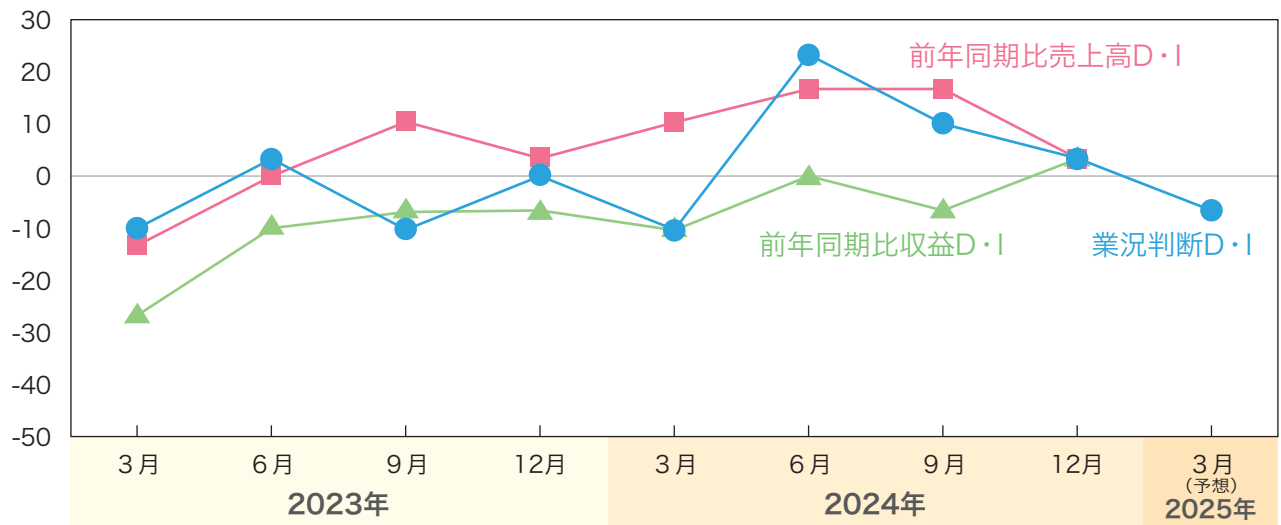
今期の業況判断指数(D・I値)は、3.4と前期(7月～9月)に比べ6.6ポイント悪化しましたが、3期連続でプラス圏内は維持しました。業種別においてはその他サービス業で上昇、洗濯・理容・浴場業及び自動車整備業で悪化し、他の業種は横這いでした。売上高D・I値は前期比13.3ポイント下回り、収益D・I値は前期比9.9ポイント好転しました。経営指標はやや減速傾向にあり、人手不足等により業績は圧迫されていると推察されます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	0.0	10.0	3.4	△6.6
売上高D・I	3.4	16.7	3.4	—
収益D・I	△6.6	△6.6	3.3	—

来期の見通しについて

娯楽業・自動車整備および駐車場業・その他サービス業でやや下降、他の業種は横這いの見通しで、サービス業全体では前期より悪化する見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・原価高騰しているが、販売価格に転嫁できている。
- ・固定費増加により、収益性が低下している。
- ・人材の確保、技術の継承に注力し、将来的な収益の改善に繋げていきたい。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人手不足 売上の停滞・減少 46.7%	人手不足 46.7%
第2位	材料価格の上昇 43.3%	売上の停滞・減少 40.0%
第3位	商圏人口の減小 人件費の増加 23.3%	商圏人口の減小 同業者間の競争の激化 23.3%

(複数回答)

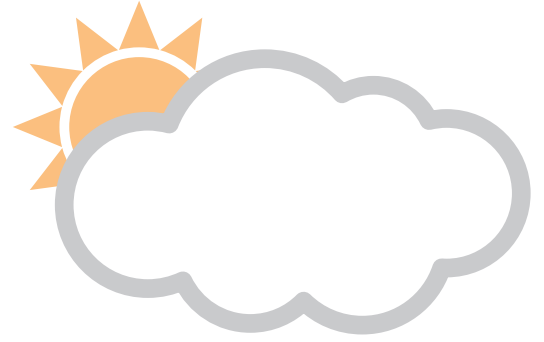
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 53.3%	経費を節減する 56.7%
第2位	販路を広げる 40.0%	人材を確保する 販路を広げる 46.7%
第3位	人材を確保する 23.3%	宣伝・広告を強化する 20.0%

(複数回答)



建設業



概況

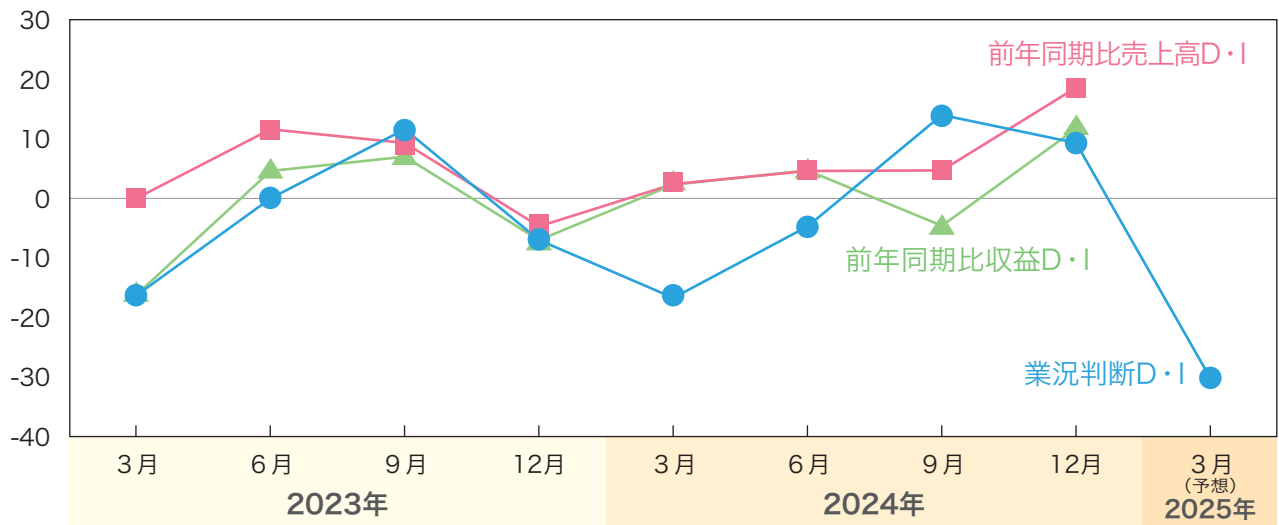
今期の業況判断指数（D・I値）は、9.3と前期（7月～9月）に比べ4.7ポイント下回りました。業種別では設備工事業で12.5ポイント上昇しましたが、総合工事業で4.0ポイント、職別工事業で16.7ポイントの下降となり、全体ではやや頭打ちとなりました。売上高D・I値は前期比13.9ポイント、収益D・I値は16.3ポイント好転しました。経営指標は改善傾向の中で景況感はやや悪化、人手不足・材料価格の上昇等に対する不安が影響したと推察されます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△7.0	14.0	9.3	△30.2
売上高D・I	△4.7	4.7	18.6	—
収益D・I	△7.0	△4.6	11.7	—

来期の見通しについて

総合工事・職別工事業及び設備工事業のすべてが下降の見込みで、全体ではマイナス圏内を予測しており、大きく悪化する見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・来期も大型受注により売上を見込める予定。
- ・売上は元請けからの受注に左右される。工事売上げの減少に加え材料高騰が影響し収益を圧迫している。
- ・提案によりeLTAXを導入、でんさい移行（発生記録簿）を検討している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	材料価格の上昇 人手不足 55.8%	人手不足 55.8%
第2位	売上の停滞・減少 23.3%	材料価格の上昇 53.5%
第3位	下請けの確保難 20.9%	売上の停滞・減少 25.6%

（複数回答）

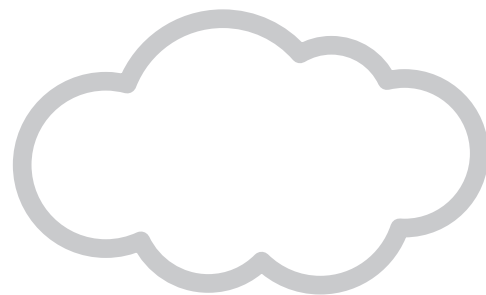
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人材を確保する 60.5%	人材を確保する 51.2%
第2位	経費を節減する 46.5%	経費を節減する 46.5%
第3位	技術力を強化する 41.9%	販路を広げる 37.2%

（複数回答）



不動産業



概況

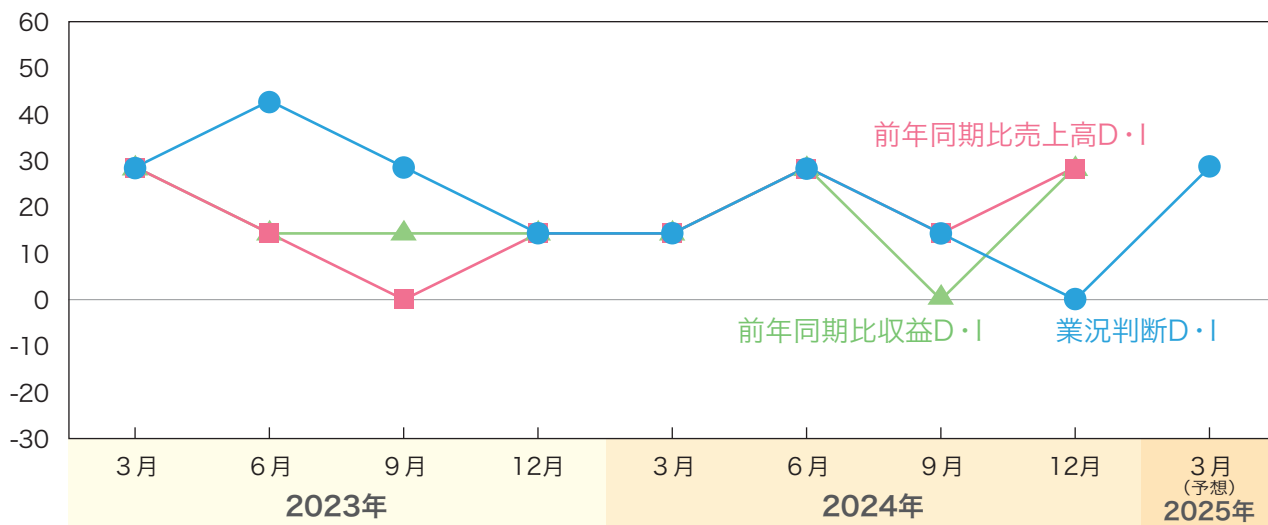
今期の業況判断指数(D・I値)は0.0で前期(7月～9月)比14.3ポイント下降しました。売上高D・I値は前期比14.3ポイント、収益D・I値も前期比28.6ポイント上昇していますが、物件の需要低調によるものと推察されます。

来期の見通しについて

不動産代理業・仲介業で上昇、他の不動産業では横這いを見通し、不動産業全体では改善する見通しです。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	14.3	14.3	0.0	28.6
売上高D・I	14.3	14.3	28.6	—
収益D・I	14.3	—	28.6	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・不動産在庫が長期化している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人件費以外の経費の増加 57.1%	同業者間の競争の激化 利幅の縮小 42.9%
第2位	商品物件の縮小 売上の停滞・減少 42.9%	商品物件の高騰 商品物件の縮小 人手不足 28.6%
第3位	商品物件の高騰 人件費の増加 28.6%	売上の停滞

(複数回答)

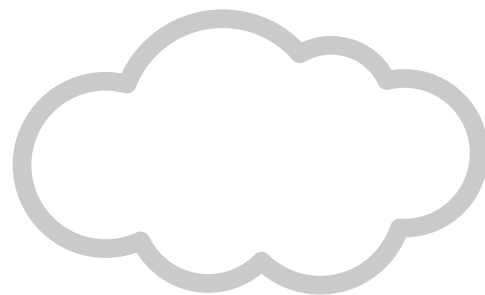
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 100.0%	経費を節減する 57.1%
第2位	宣伝・広告を強化する 57.1%	宣伝・広告を強化する 42.9%
第3位	販路を広げる 情報力を強化する 42.9%	機械化を推進する 情報力を強化する 人財を確保する 販路を広げる 28.6%

(複数回答)



運輸業



概況

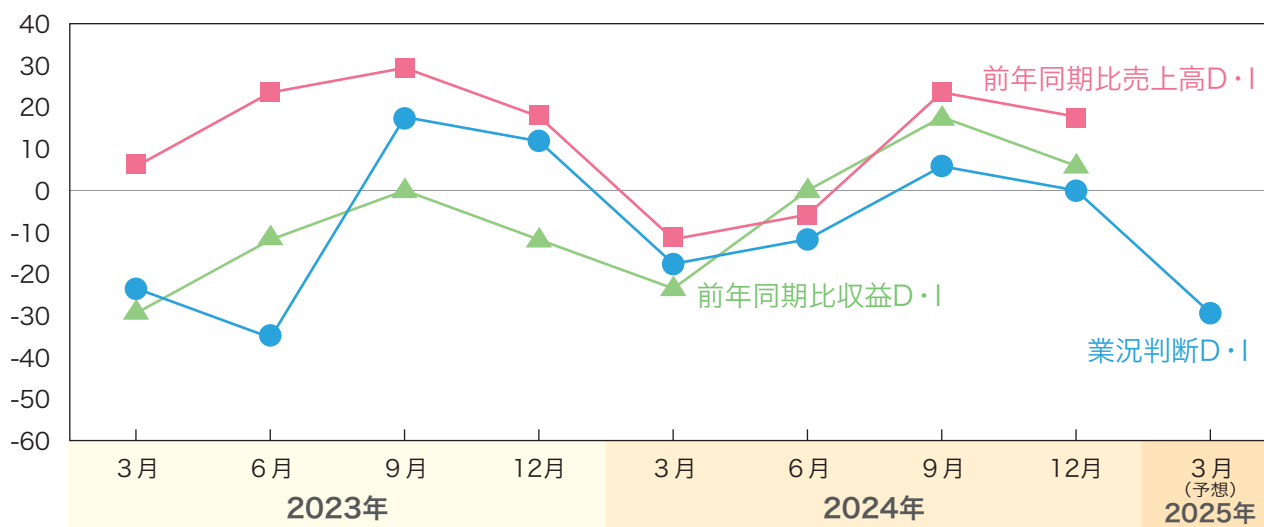
今期の業況判断指数（D・I値）は、0.0と前期（7月～9月）に比べ5.8ポイント下降しました。業種別では貨物自動車運輸業・通運業で上昇、ハイヤー・タクシー等旅客自動車業及びその他の運輸・通信業で悪化となりました。売上高D・I値は前期比で5.8ポイント、収益D・I値では同11.7ポイントの下降となりました。経営指標が前期比で下回り、そのまま景況感へ反映されました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	11.8	5.8	0.0	△29.4
売上高D・I	17.7	23.5	17.7	—
収益D・I	△11.8	17.6	5.9	—

来期の見通しについて

貨物自動車運輸業・通運業で大きく下降、他の運輸業は横這いを予測しており、全体では大きく悪化する見通しとなっています。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・天候要因が前期比改善された。
- ・従業員の高齢化が進んでいる。
- ・車両2台入替を実施。取引先への運賃値上げ交渉を継続している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	燃料価格の上昇 88.2%	人手不足 70.6%
第2位	人手不足 64.7%	燃料価格の上昇 58.8%
第3位	売上の停滞・減少 23.5%	同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少 利幅の縮小 17.6%

（複数回答）

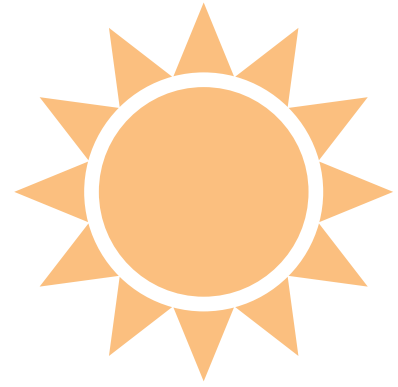
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 64.7%	経費を節減する 70.6%
第2位	販路を広げる 47.1%	販路を広げる 58.8%
第3位	人材を確保する 35.3%	人材を確保する 35.3%

（複数回答）



農業

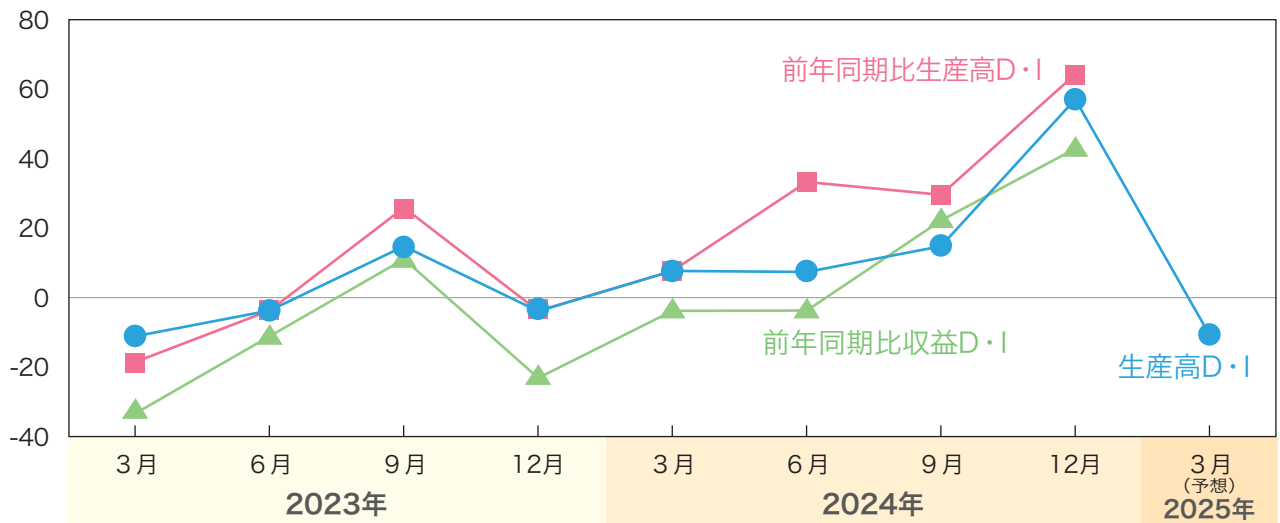


概況

2024年産米の相対取引価格が10月、11月と2か月連続で上昇し全国的にも最高値を更新した影響で、生産高D・I値は前期（7月～9月）に比べ42.3ポイント上昇、収益D・I値も同20.7ポイント上昇しました。11月時点で北海道の「ななつぼし」では60㌧あたり25,862円と急伸し、農産物の輸出についても過去最高ペースとなり、特に米国や香港などのアジア向けが伸び、日本食も含め関心度が高まっている状況です。来年以降も米の相対取引価格は高値が想定されており、生産者の増収、増益が期待されます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
生産高D・I	△3.9	14.8	57.1	△10.7
前年同期比生産高D・I	△3.8	29.6	64.3	—
収益D・I	△23.1	22.2	42.9	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・機械類は直近の入替えはないが、価格が高くなっているのを実感している。
- ・肥料代高騰しているが、販売価格はほぼ変動なし。
- ・米買取単価大きく上昇。収量も安定。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	経費の増加	57.7%	生産資材等価格の上昇	64.3%
第2位	人手不足 生産資材等価格の上昇	50.0%	経費の増加	53.6%
第3位	生産者価格の低迷	34.6%	機械・設備の値上がり 機械・設備の老朽化	32.1%

（複数回答）

特別調査

2025年(令和7年)の経営見通し

当金庫が今回実施致しました第154回中小企業景気動向調査と併せて(運輸業と農業を除く)171先について「2025年(令和7年)の経営見通し」をアンケート調査した結果です。

問1. 貴社では、2025年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|---------|------|---------|
| 1 非常に良い | 4 普通 | 5 やや悪い |
| 2 良い | | 6 悪い |
| 3 やや良い | | 7 非常に悪い |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
1 非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2 良い	0.0%	0.0%	3.6%	3.3%	4.7%	14.3%	3.5%
3 やや良い	8.7%	15.4%	7.3%	3.3%	4.7%	0.0%	6.4%
4 普通	21.7%	23.1%	18.2%	23.3%	25.6%	42.9%	22.8%
5 やや悪い	56.5%	46.2%	54.5%	46.7%	48.8%	42.9%	50.9%
6 悪い	13.0%	15.4%	12.7%	23.3%	16.3%	0.0%	15.2%
7 非常に悪い	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%

2025年の景気見通しに対し、全事業先で「良い」(やや良い・非常に良いを含む)と回答した先は9.9%(5.9%)に止まりました。「普通」の回答率が22.8%(37.4%)、「悪い」(やや悪い・非常に悪いを含む)と回答した事業先は全体で67.3%(56.7%)となっております。景気の見通しを対前年比で見ると、「良い」+4.0%、「普通」△14.6%、「悪い」+10.5%となり、前年度に「普通」と回答した事業先の3割は「良い」の見通しへランクアップ、7割は「悪い」の見通しにランクダウンとなり、全体ではやや悪化を予想しております。「悪い」(やや悪い・非常に悪いを含む)とした業種は小売70.8%(61.1%)が最も高く、以下サービス業70.0%(66.7%)、製造業69.5%(56.5%)が続いております。

※()は前年度実績

問2. 貴社では、2025年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|---------|------|---------|
| 1 非常に良い | 4 普通 | 5 やや悪い |
| 2 良い | | 6 悪い |
| 3 やや良い | | 7 非常に悪い |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
1 非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2 良い	4.3%	0.0%	1.8%	0.0%	4.7%	0.0%	2.3%
3 やや良い	4.3%	15.4%	7.3%	6.7%	7.0%	14.3%	7.6%
4 普通	39.1%	61.5%	43.6%	60.0%	34.9%	57.1%	45.6%
5 やや悪い	43.5%	15.4%	34.5%	30.0%	41.9%	28.6%	35.1%
6 悪い	4.3%	7.7%	9.1%	3.3%	11.6%	0.0%	7.6%
7 非常に悪い	4.3%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%

2025年の自社の業況(景気)見通しは、前問の「日本の景気見通し」とは違い全事業先を見ると「普通」が45.6%(50.3%)と最も多くなりました。全事業先で「良い」(やや良い・非常に良いを含む)と回答した先は9.9%(11.2%)で前年度比△1.3%、「悪い」(やや悪い・非常に悪いを含む)は44.5%(38.6%)で前年比+5.9%ポイントとなり、全体ではやや悪化を予想しております。「悪い」(やや悪い・非常に悪いを含む)とした業種別では建設業53.5%(32.5%)が最も高く、以下製造業52.1%(52.2%)、小売業47.2%(38.9%)が続きました。

※()は前年度実績

問3. 2025年において貴社の売上額の伸び率は、2024年に比べておおそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|-------------|---------|-------------|
| 1 30%以上の増加 | 5 変わらない | 6 10%未満の減少 |
| 2 20~29%の増加 | | 7 10~19%の減少 |
| 3 10~19%の増加 | | 8 20~29%の減少 |
| 4 10%未満の増加 | | 9 30%以上の減少 |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
1 30%以上の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.6%
2 20~29%の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3 10~19%の増加	4.3%	0.0%	1.8%	6.7%	2.3%	0.0%	2.9%
4 10%未満の増加	30.4%	46.2%	27.3%	20.0%	16.3%	28.6%	25.1%
5 変わらない	30.4%	38.5%	43.6%	53.3%	53.5%	42.9%	45.6%
6 10%未満の減少	21.7%	15.4%	21.8%	20.0%	16.3%	28.6%	19.9%
7 10~19%の減少	13.0%	0.0%	1.8%	0.0%	9.3%	0.0%	4.7%
8 20~29%の減少	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
9 30%以上の減少	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%

2025年における自社の売上額の伸び率は全体では「変わらない」と回答した先が45.6%(46.8%)と、最も多くなりました。全事業先で「増加」(10%未満~30%以上を含む)と回答した先は28.6%(26.9%)で、業種別では卸売業46.2%(35.7%)・製造業34.7%(30.4%)・小売業29.1%(24.1%)の順となっております。また、全事業先で「減少」(10%未満~30%以上を含む)と回答した先は25.8%(26.4%)となりました。業種別では、製造業34.7%(30.4%)・不動産業28.6%(28.6%)・小売業27.2%(27.9%)の順で減少を見通しています。

※()は前年度実績

問4. 貴社では、自社の業況が向上く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | | | |
|---|-----------|---|---------------|
| 1 | すでに上向いている | 5 | 3年後 |
| 2 | 6か月以内 | 6 | 3年超 |
| 3 | 1年後 | 7 | 業況改善の見通しは立たない |
| 4 | 2年後 | | |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
1 すでに上向いている	17.4%	7.7%	10.9%	10.0%	23.3%	14.3%	14.6%
2 6か月以内	0.0%	30.8%	10.9%	10.0%	9.3%	28.6%	11.1%
3 1年後	21.7%	46.2%	9.1%	26.7%	18.6%	0.0%	18.7%
4 2年後	13.0%	0.0%	9.1%	3.3%	9.3%	14.3%	8.2%
5 3年後	13.0%	7.7%	7.3%	10.0%	7.0%	14.3%	8.8%
6 3年超	4.3%	7.7%	12.7%	23.3%	14.0%	14.3%	13.5%
7 業況改善の見通しは立たない	30.4%	0.0%	40.0%	16.7%	18.6%	14.3%	25.1%

自社の業況が向上く転換点では、全業種を通じ「業況改善の見通しは立たない」が25.1%（29.2%）で最も多くなりました。業種別では、小売業・製造業・建設業の順となり、それぞれ40.0%（35.2%）、30.4%（25.6%）、18.6%（30.0%）となっております。1年後以内（すでに上向いている・6か月以内を含む）を転換点とする回答は44.4%（44.5%）で、業種別では卸売業84.7%（64.2%）が最も高く、以下建設業51.2%（51.2%）、サービス業46.7%（30.0%）と続いております。

※（ ）は前年度実績

問5. 脱炭素化への取組み（具体的な例は下の枠の中をご覧ください。）についてお伺いします。

《脱炭素化に向けた取組みの事例》	
情報提供：コスト削減事例の紹介、行政からの支援内容の紹介	対策実行：LED・高効率空調・太陽光発電の導入支援
現状把握：CO ₂ 排出量の算出サービスの紹介	資金供給：サステナブルファイナンス（SDGs・脱炭素化対応融資）
計画策定：省エネ診断の紹介、CO ₂ 排出量削減計画の策定支援	

貴社は、脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取組みはありますか。1～8の中から最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。また、貴社は、信用金庫業界が地域のために積極的に上の枠の取組みを行っていることを知っていますか。9～0の中から1つ選んでお答えください。

信用金庫業界に期待する取組み	信用金庫業界の取組状況
1 事例の紹介	9 知っている
2 行政からの支援内容の紹介	0 知らない
3 CO ₂ 排出量の算出	
4 省エネ診断	
5 削減計画の策定	
6 設備導入支援	
7 サステナブルファイナンス	
8 特にない	

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
信用金庫業界に期待する取組み	1 事例の紹介	30.4%	23.1%	29.1%	30.0%	20.9%	26.9%
	2 行政からの支援内容の紹介	4.3%	23.1%	16.4%	13.3%	20.9%	15.8%
	3 CO ₂ 排出量の算出	4.3%	0.0%	1.8%	6.7%	7.0%	4.1%
	4 省エネ診断	8.7%	23.1%	5.5%	3.3%	11.6%	8.8%
	5 削減計画の策定	4.3%	0.0%	5.5%	6.7%	7.0%	5.3%
	6 設備導入支援	4.3%	7.7%	7.3%	16.7%	11.6%	9.4%
	7 サステナブルファイナンス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	8 特にない	43.5%	23.1%	34.5%	23.3%	20.9%	29.8%
組業信 状業信 況業信 の金 取庫	9 知っている	21.7%	23.1%	34.5%	26.7%	34.9%	29.8%
	0 知らない	78.3%	76.9%	65.5%	73.3%	65.1%	70.2%

脱炭素化に向けた信用金庫業界に対して期待する取組みについて、事業先の回答では「特にない」が29.8%となった一方、残りの70.2%の事業先で関心があるという結果となりました。期待する取組みとして「事例の紹介」26.9%が最も高く、以下「行政からの支援内容の紹介」15.8%、「設備導入支援」9.4%と続きました。信用金庫業界の脱炭素化に向けた取組は、「知らない」とした事業先の回答率は70.2%となり、認知が十分とは言えない結果となりました。

主要経済指標

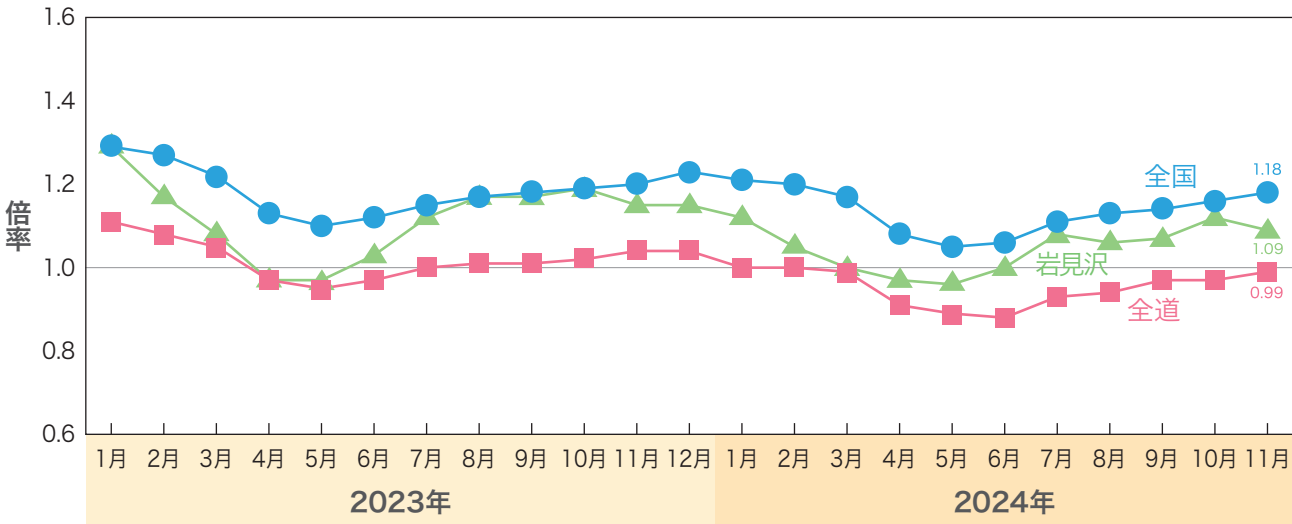
1. 空知管内・江別の人口動向

(人)

	2023年	2024年										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
岩見沢市	75,541	75,414	75,279	75,034	74,922	74,823	74,740	74,672	74,602	74,532	74,440	74,357
美 唄 市	18,985	18,930	18,883	18,812	18,782	18,747	18,720	18,675	18,628	18,594	18,534	18,489
三 笠 市	7,465	7,450	7,406	7,371	7,381	7,370	7,364	7,349	7,348	7,333	7,314	7,281
栗 山 町	10,906	10,886	10,846	10,801	10,809	10,801	10,778	10,738	10,722	10,691	10,692	10,674
南 幌 町	7,785	7,792	7,803	7,844	7,875	7,869	7,889	7,892	7,904	7,919	7,929	7,933
由 仁 町	4,662	4,642	4,642	4,626	4,610	4,591	4,578	4,578	4,562	4,554	4,540	4,527
長 沼 町	10,058	10,058	10,043	10,012	10,013	10,009	10,009	10,023	10,013	9,993	9,983	9,958
江 別 市	118,695	118,586	118,518	118,237	118,328	118,294	118,263	118,192	118,156	118,100	118,116	118,112

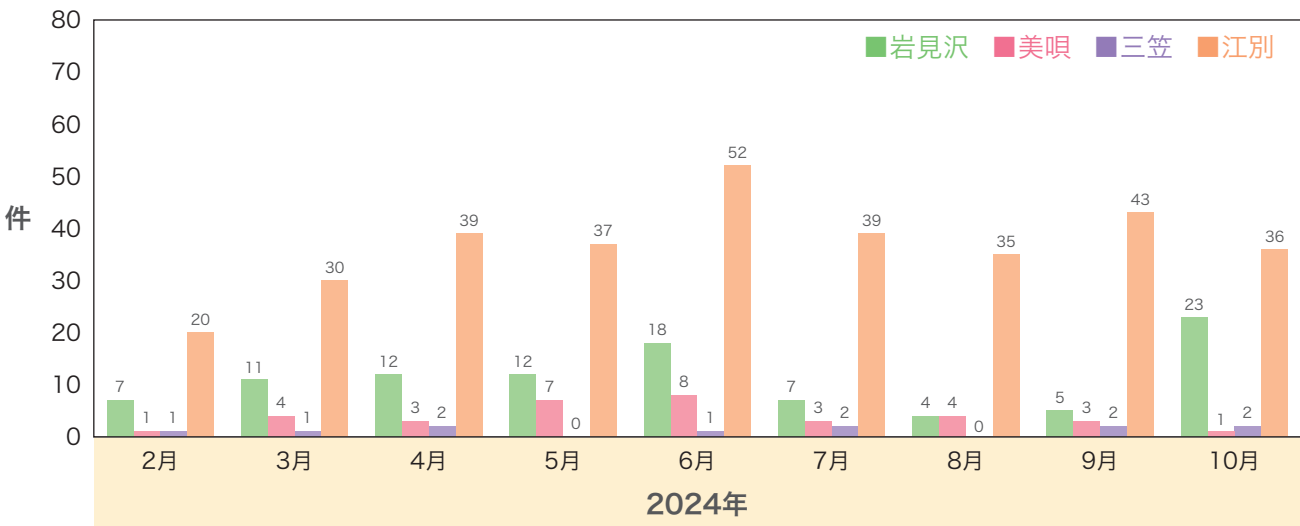
(資料：空知総合振興局)

2. 岩見沢管内の有効求人倍率



(資料：北海道労働局)

3. 建築確認申請数(4号) ※4号…木造2階建て以下の建築物

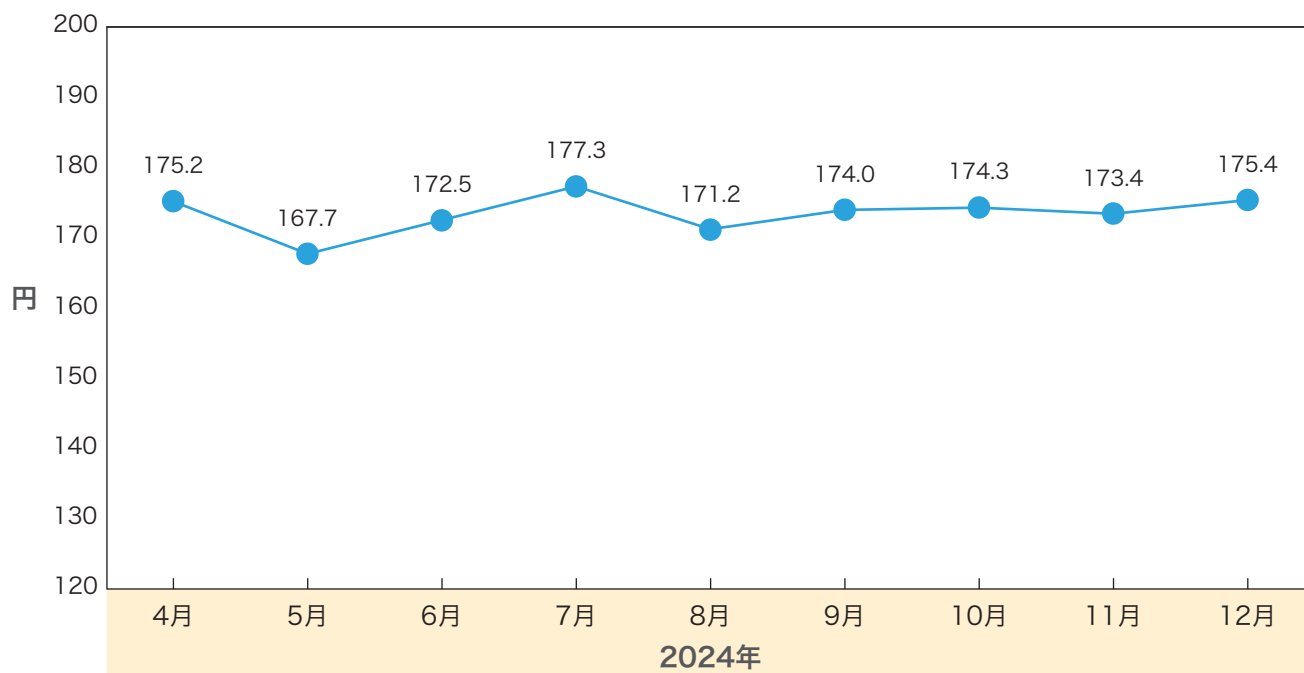


(資料：北海道建設部住宅局)

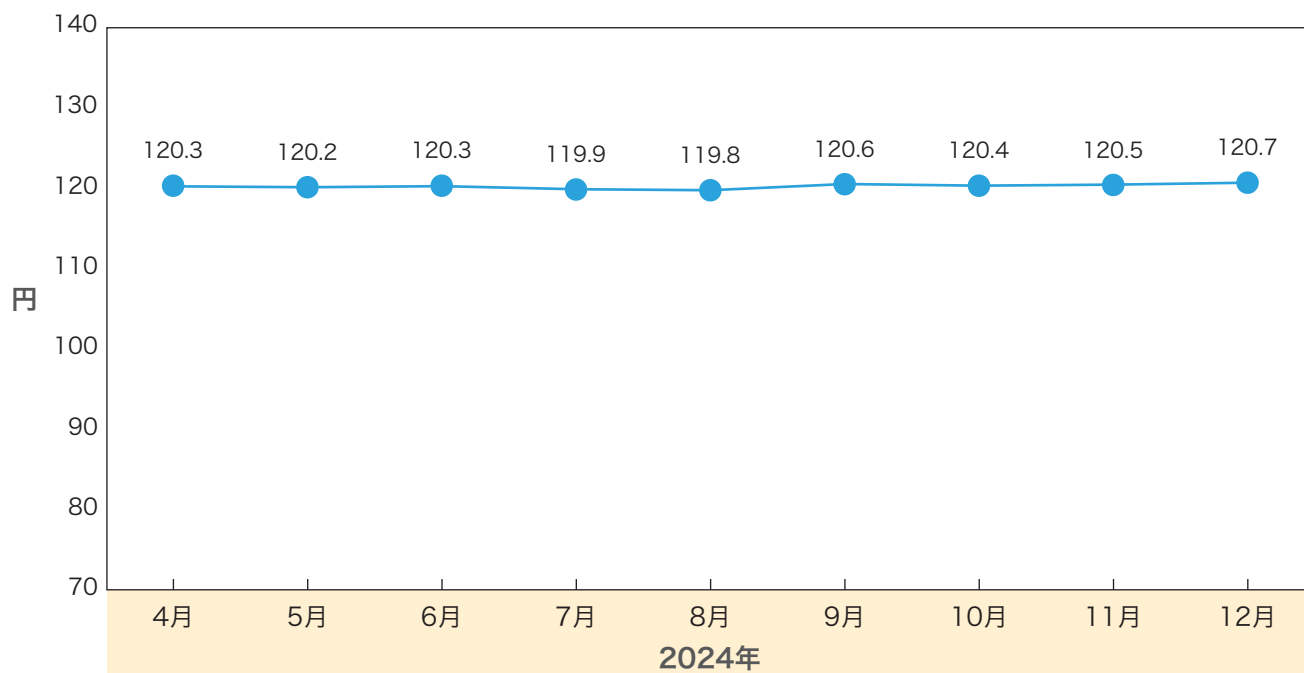
4. 管内のガソリン価格・灯油価格

(岩見沢市・美瑛市・三笠市・江別市・栗山町の平均を算出したもの)

① ガソリン



② 灯油



(資料：北海道消費者協会)

ビジネスマッチングコーナー

このコーナーでは、空知信用金庫のお取引先企業様をご紹介します。皆様の販路拡大やビジネスの連携をサポートする「誌上ビジネスマッチング」の場として、お役立てください。お問い合わせは、直接掲載企業もしくは、当金庫 地域支援部までご連絡ください。

彗星軒

取引店：札幌東支店

2019年に創業した、札幌市東区に店舗を構える「彗星軒」です。当店では、和菓子の伝統を大切にしながら、少しでも遊び心を加えたスイーツをご用意しています。中でも看板商品「トロモチドリンク」は、飲むお餅という新しいスタイルで、もちもち食感と豊かな風味が楽しめる大変好評をいただいております。そしてさらに「とろもち仙人」という餅のぷりんの新シリーズを立ち上げ、より幅広い方々に楽しんでいただける商品展開を目指しています。

この「とろもち仙人」は、店舗での提供はもちろん、今後はオンライン販売やコラボレーションを通じて、道内、全国に発信していきたいと考えています。彗星軒ならではの味と新しい体験をお届けしながら、和菓子の可能性を広げていけたら嬉しいです。商品内容などは気軽にお問い合わせ下さい。ご利用、心よりお待ちしております。



〒065-0013 札幌市東区北13条東13丁目3-1
担当者：磯部 武 様
Tel 011-792-8760 Fax 011-792-8761
Hp <https://suisseiken.com>
E-mail isobe@suisseiken.com

空知信用金庫の社会的取組

空知信用金庫では、地域のお客様を直接サポートする機能強化を図るため、平成29年4月、地域支援室を立ち上げ、令和3年3月より地域支援部となりました。

地域支援部では、以下のような事業や取組みを行っております。

パッケージデザインコンテストの開催（令和6年11月25日）

当金庫では地域貢献事業の一環として、南空知管内の事業者からパッケージデザインのリニューアル対象商品を募集し、地域の29歳以下の方を対象にデザインアイデアを募る「パッケージデザインコンテスト」を開催致しました。地域の若者が地域の良い商品、企業課題を知るきっかけになったこと、また、若者のアイデアが地域経済をより良い方向へ導く可能性を示した取組みとなりました。



100年の感謝とともに
新たな歴史を皆さまと



空知信用金庫は、
令和7年1月6日
創立100年を迎えました

■本店の変遷



昭和7年



昭和12年



昭和29年



現在



明るく大きく豊かに

空知信用金庫 設立／1925年(大正14年)1月6日

LINEでそらちしんきんと友だちになろう!

様々な情報をLINEでお届け!



店舗・ATMのご案内

店 舗				ATMご利用時間		
				●平日 ●土曜日 ●土・日・祝日		
岩見沢市内店	本店	〒068-8660	岩見沢市3条西6丁目2番地1	TEL 0126-22-1150	8:45～19:00	9:00～17:00
	鉄北支店	〒068-0042	岩見沢市北2条西11丁目1番3号	TEL 0126-24-6233	9:00～18:00	－
	日の出支店	〒068-0824	岩見沢市日の出北4丁目2番17号	TEL 0126-25-4555	9:00～18:00	－
	美園支店	〒068-0814	岩見沢市美園4条5丁目1番10号	TEL 0126-24-6363	9:00～18:00	－
	幌向支店	〒069-0371	岩見沢市幌向南1条2丁目112番地1	TEL 0126-26-2021	9:00～18:00	9:00～17:00
	栗沢支店	〒068-0127	岩見沢市栗沢町本町55番地1	TEL 0126-45-2324	9:00～18:00	9:00～17:00
南空知管内	美唄支店	〒072-0023	美唄市大通西1条南1丁目3番6号	TEL 0126-62-7511	9:00～18:00	9:00～17:00
	三笠支店	〒068-2153	三笠市幸町12番地7	TEL 01267-2-2383	9:00～18:00	9:00～17:00
	栗山支店	〒069-1511	夕張郡栗山町中央3丁目3番地	TEL 0123-72-0208	9:00～18:00	9:00～17:00
	由仁支店	〒069-1297	夕張郡由仁町本町148番地	TEL 0123-83-2011	9:00～18:00	－
	長沼支店	〒069-1332	夕張郡長沼町中央南1丁目1番12号	TEL 0123-88-2131	9:00～18:00	－
	南幌支店	〒069-0237	空知郡南幌町米町1丁目3番1号	TEL 011-378-2311	9:00～18:00	9:00～17:00
札幌市・江別市内	札幌支店	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6丁目2番地	TEL 011-271-3421	9:00～18:00	－
	(事務所) 千歳法人オフィス	〒066-0062	千歳市千代田町7丁目1789-3 千歳ステーションプラザ4階	TEL 0123-29-6850	－	－
	札幌北支店	〒001-0024	札幌市北区北24条西6丁目1番5号	TEL 011-757-3435	9:00～18:00	－
	琴似支店	〒063-0812	札幌市西区琴似2条3丁目1番12号	TEL 011-644-4422	9:00～18:00	－
	白石支店	〒003-0026	札幌市白石区本通5丁目南4番36号	TEL 011-862-7766	9:00～18:00	－
	平岸支店	〒062-0932	札幌市豊平区平岸2条9丁目2番11号	TEL 011-831-8555	9:00～18:00	－
	厚別支店	〒004-0065	札幌市厚別区厚別西5条2丁目1番27号	TEL 011-895-2111	9:00～18:00	－
	札幌西支店	〒063-0061	札幌市西区西町北20丁目3番10号	TEL 011-666-8111	9:00～18:00	－
	札幌東支店	〒065-0019	札幌市東区北19条東16丁目1番8号	TEL 011-783-3611	9:00～18:00	－
江別支店	〒067-0074	江別市高砂町8番地3	TEL 011-383-1011	9:00～18:00	9:00～17:00	

店舗外ATMコーナー

			ご利用時間	
			●平日	●土・日・祝日
岩見沢市	J R 岩 見 沢 駅 (共同ATM)	岩見沢市有明町南	9:00～21:00	9:00～21:00
	ビッグハウス岩見沢店 (共同ATM)	岩見沢市大和1条9丁目	9:00～21:00	9:00～21:00
	イオン岩見沢店	岩見沢市大和4条8丁目	9:00～19:00	9:00～17:00
	本店春日出張所	岩見沢市春日町2丁目2番22号	9:00～17:00	－
	一条出張所	岩見沢市1条西1丁目	9:00～17:00	－
	であえーる岩見沢 (共同ATM)	岩見沢市3条西4丁目	9:00～19:00	9:00～18:00
	岩見沢市役所	岩見沢市鳩が丘1丁目	9:00～17:30	－
	岩見沢市役所 北村支所 (共同ATM)	岩見沢市北村赤川593番地の1	9:00～17:00	－
	北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目	9:00～17:00	－
三 笠 市	イオンスーパーセンター三笠店	三笠市岡山1059番地の1	9:00～19:00	9:00～17:00



空知信用金庫

第154回地域企業景気動向調査
景況レポート 2025.1

発行 2025年1月31日

〒068-8660 岩見沢市3条西6丁目2番地1

空知信用金庫 地域支援部

TEL 0126-22-1171

<https://www.shinkin.co.jp/sorachi/>